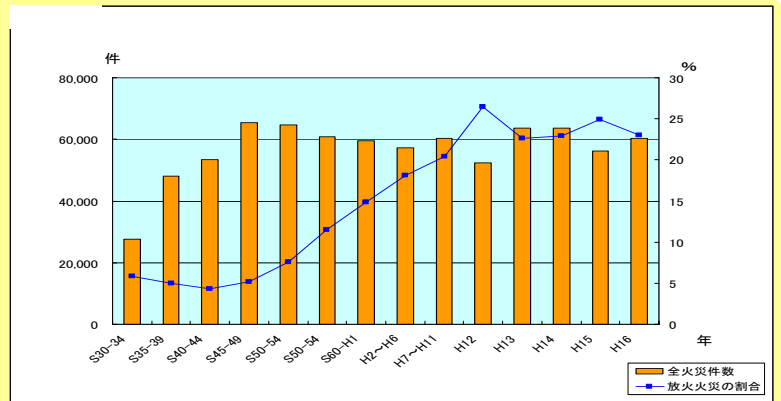


放火火災の防止対策について

放火火災の現状

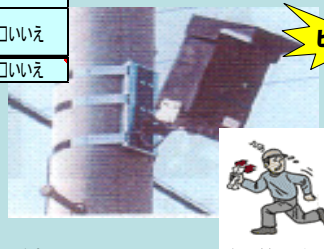
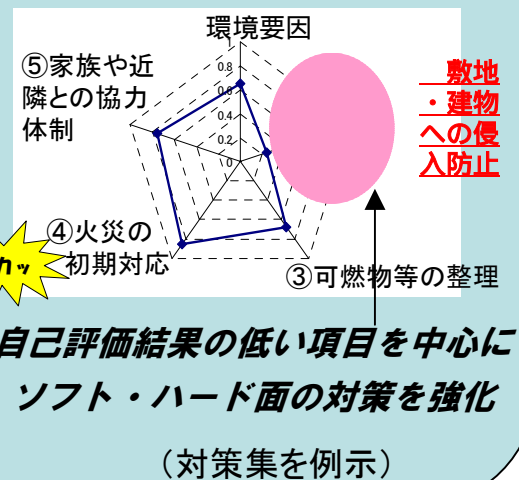
- ・平成16年放火火災件数(疑いを含む)
14,006件/全火災件数60,387件
- ・平成4年以降連続して1万件超
- ・火災原因の1位で、年々増加傾向



放火火災防止対策戦略プラン

- ・平成16年度に「放火火災防止対策検討会」において策定
- ・放火火災に係る危険度の自己評価とハード・ソフト両面の対策を提示することができるシステム

中項目	ID	評価項目 (小項目)	達成度 (現状の評価)
1. 環境要因	1	前面道路は、主として近隣者だけが通行する道路ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	2	付近の道路は、深夜でも人通りがありますか？	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
	3	建物前面の道路には、街路灯が設置されていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	4	自宅付近で放火が発生したこと(聞いたこと)がありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	5	付近で暴力事件、ひったくり、痴漢等が発生したことがありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	6	扉には夜間鍵をかけていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ



放火火災監視カメラの活用(ハード対策の例)

今後の取組み方針

- 17・18年の全国火災予防運動における放火火災防止対策戦略プラン(以下「プラン」という。)の実施結果をもとにプランの評価シート項目や対策項目の見直しを行う。
- 危険度の自己評価を実施できるような評価用ソフトの開発を行う。
- 過去に発生した放火火災データを地図上に表示し、放火火災の傾向を視覚的に把握、重点的に対策を講ずるべき地域を絞り込むことが可能となる「放火火災情報地図(GISシステム)」のプログラム開発を行う。